

きょうでん

# 経田地区

(富山県魚津市)

- 計 画 期 間 平成18年度～平成22年度
- 面 積 44ha
- 交付対象事業費 695百万円
- 市人口 40,298人

**ポイント** 災害に強いまちづくり

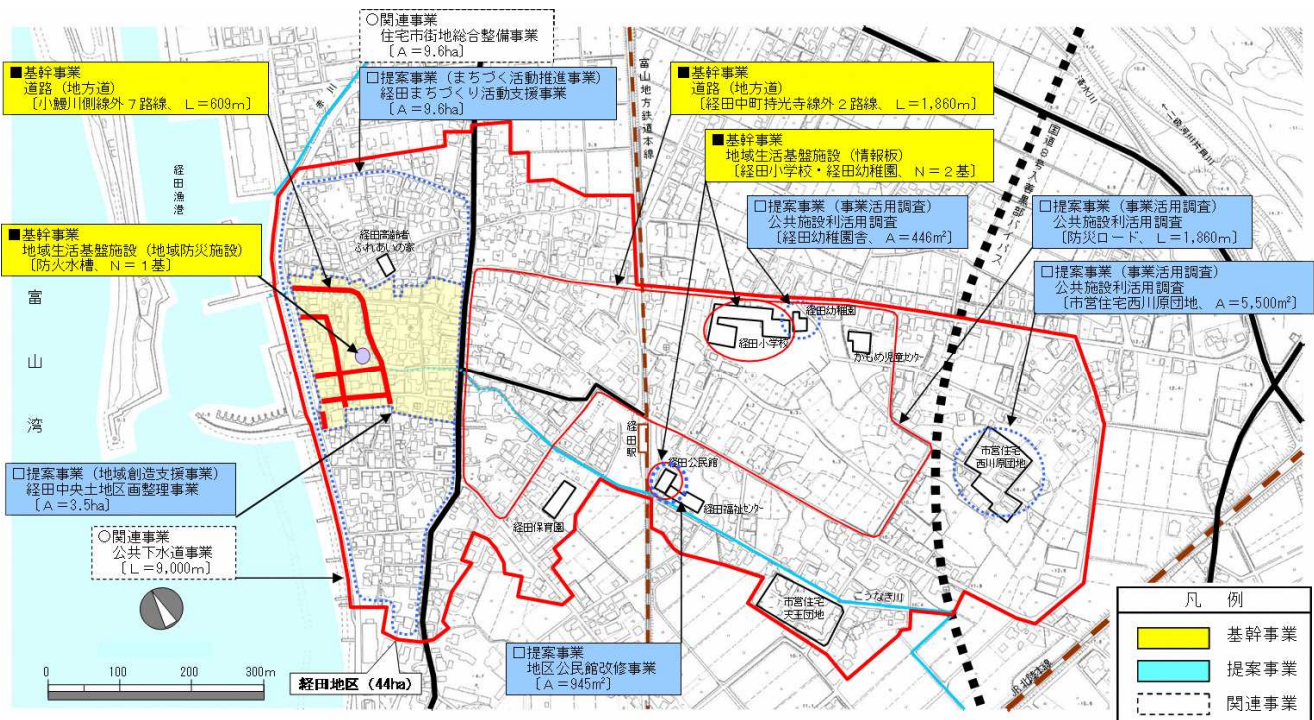
**地区概要** 地区内市道の整備、避難所案内板の設置、区画整理事業の実施や住民が主体となったまちづくり活動を行うことにより、災害に強いまちづくりと地域コミュニティの活性化を図る。

- 目 標**
- ① 防災性の高い安全な市街地の形成
  - ② 居住環境の改善
  - ③ 既存コミュニティの活性化と人口定着の促進

**指 標** 防災性の高い安全な市街地の形成、居住環境の改善、既存コミュニティの活性化による相乗効果を見込んだ指標とした。

・老朽建築物の更新件数	0件/年(H17) → 10件/年(H22)
・地域まちづくり活動の頻度	5回/年(H17) → 12回/年(H22)
・若年居住者の数	1,231人(H17) → 1,080人(H22)

**事業内容** 基幹事業(544百万円) → 道路(市道整備 L=2,469m)、地域生活基盤施設(避難所案内板の設置)、耐震性貯水槽整備(1箇所)  
 提案事業(151百万円) → 土地区画整理事業(A=3.5ha)、地区公民館改修事業(1箇所)、公共施設利活用事業(防災まちづくりの検討)、経田まちづくり活動支援事業(ワークショップなど)



完了地区 富山県

## 地区の現況と課題

- ・ 建替え困難な敷地環境を改善し、老朽建築物の建替えを促進するとともに、従前居住者対策を講じる必要がある。主要な防災道路の確保、防災性向上を図る既存道路の修復・改善、身近なオープンスペースの充実を図る必要がある。歩行者が安全に心地良く歩ける生活軸の形成が必要である。
- ・ 住民が日常的に利用できる身近な公園や広場の整備が必要である。住環境を改善し、若い世代の定住促進を図るとともに、高齢者が安心して暮らせる環境づくりが必要である。また、積極的な住民参加型のまちづくりを推進するための意識啓発が必要である。

## 提案事業の特徴

### 土地区画整理事業

先行整備地区内で土地区画整理事業による面整備を行い、狭隘な道路を修復・改善した防災性の向上、住環境をレベルアップしたふれあいある環境づくりを図る。

### 公共施設利活用調査

地区自主防災会を中心に、地区内の防災まちづくりのあり方について議論し、その中で地区内の公共施設の利活用方策についても検討を行う。

### まちづくり活動推進事業

独居老人等、避難弱者に対する災害時の連絡・誘導体制の整備や避難訓練を実施する。また、区画整理についての情報共有及び啓発・研修活動を行う。

## 計画策定プロセス

### 継続的なまちづくり活動

経田地区では、多くの区域で老朽化した木造住宅や狭幅員道路がネックとなり、緊急車両が入れないことや下水道管の埋設が施工できないなど、生活環境の向上を妨げる状況となっている。このような中、平成 16 年には地区内で大規模な火災が発生し、5 棟の建築物が焼失している。

地区内では、土地区画整理事業の手法による、これらの問題点の解消を考えており、「土地区画整理委員会」を中心にワークショップ形式により整備計画の検討を行ってきた。さらには、土地区画整理事業の事業化に向けて、地域のまちづくり方針との整合を図りながら市街地環境の改善や防災性の向上を勘案した区画整理設計を行うなど、住民参加のまちづくり活動を展開している。



▲ 狭い道路が多い地区内の様子



▲ 拡幅整備された道路



▲ 地区の避難所である経田公民館



▲ 住民研修会の開催



▲ ワークショップの様子